

第532回 「医学研修の日」

演題 「最新の放射線治療」
講師 国立がん研究センター 中央病院
放射線治療科科長 伊丹 純 先生

とき 平成27年 11月17日(火) 午後7時30分～

ところ 横浜市健康福祉総合センター4階ホール
横浜市中区桜木町1-1 TEL:201-7362

入場無料

単位 1.5単位

カリキュラムコード 19(身体機能の低下)、25(リンパ節腫脹)、73(慢性疾患・複合疾患の管理)



中央病院 (東京都中央区)

国立がん研究センター中央病院は、がん治療の進歩のための研究のみならず、患者さん支援など、がん医療に関するあらゆることに取り組んでいます。

著名人のがん闘病の様子が毎日テレビで流れています。がんは、日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が死亡し、昭和56年から日本人の死因第1位を占めています。放射線治療は、外科治療、化学療法、免疫治療と並び、悪性腫瘍の治療に重要な役割を果たしています。

国立がん研究センター中央病院では、外部照射用リニアック5台とサイバーナイフ1台、小線源治療により放射線治療を実施しています。脳、体幹部でのピンポイント照射、定位放射線治療も活用されています。体内に放射線の小線源を入れる小線源放射線治療では腫瘍に集中して照射が可能です。

また新たにホウ素中性子捕捉療法が始まります。がん細胞に選択的に集積するホウ素薬剤の新規開発と、原子炉の代わりに中性子を発生させる医療用直線加速器の開発により可能となりました。来年度より治験開始予定です。

障害発生のない腫瘍治療へむけ最新の放射線治療で邁進されている国立がん研究センター中央病院放射線治療科科長伊丹純先生に御講演をお願い致しました。

悪性腫瘍を取り扱う全科クリニックを対象として御講演いただく予定です。御多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、御出席の程宜しくお願い申し上げます。

(学術研修専門部会 金野義紀)



主催 一般社団法人 横浜市医師会
横浜市中区桜木町1丁目1番地
横浜市健康福祉総合センター7階
TEL 201-7362 FAX 201-8768
共催 わかな会